

○産婦人科の充実について

新風会・公明  
松本聖司郎  
議員



その他の質問

- ・勝山市の観光案内事業について
- ・小舟渡の橋について

問 産婦人科の充実については、以前、他の議員からも質問、要望等されていると思うが、今回の大雪で福井市まで検診に行くことが非常に危険であったとのお話があった。あわせて、「勝山に住んでいるのだから勝山で産みたい。」と強く思っている現在妊娠中の方もいらつしやることも把握している。新しい世代に勝山を誇りを持ってもらうという観点からみても、「生まれから勝山市」はとも重要な要因になりうる。これは、市長の掲げる「安心安全な街」だからこそ実現できるものとも思う。その起点となる産婦人科の充実について、市の見解と今後の方針について伺う。



答 市では、市内の妊婦の利便性向上および福井勝山総合病院の産婦人科の利用を促進するため、平成24年度から「※にこにこ妊婦奨励金」を交付し、現在、市内在住の45%以上の妊婦が奨励金を利用してはいる。

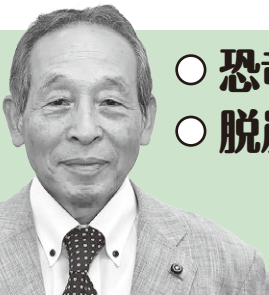
全国的に医療人材の確保は難しく、福井勝山総合病院が短期間で出産できる体制へ復帰することは困難だが、平成30年4月から常勤の産婦人科医が1人配置されたことで、妊娠中だけではなく、産婦健診や母乳相談、令和2年8月からは産後のショートステイ事業を実施するなど、産後のケアの充実を図っている。今後、安心して妊娠、出産、子育てができる環境を目指していく。

※にこにこ妊婦奨励金・福井勝山総合病院で妊婦健診を受け、県内の医療機関で出産すると10万円の奨励金が交付されます

一般質問Q&A

○恐竜を題材にした文化・芸術・ものづくり活動について  
○脱炭素社会への取り組みについて-再生可能エネルギー-

新風会・公明  
乾章俊  
議員



その他の質問

- ・勝山市観光まちづくり株式会社の活動強化について

問 観光客が恐竜博物館見学後、市内に長時間滞在し経済効果向上や雇用創出に繋げたい。恐竜は大きな発信力、影響力を持つ。恐竜を題材にした市民参加型の文化・芸術・ものづくり活動を地道に取り組み、国内・海外にも発信し、市民の交流活動を通して魅力ある滞在型の観光資源に磨きあげたい。恐竜を学術的な遠い視点だけでなく、もっと身近なものとして捉え、商品開発やアートの世界に活かしたいが、いかがか。

答 恐竜を題材としたものづくりとしては、恐竜ブランドのアプリルや菓子店による恐竜をモチーフとした菓子製造、ポルトやナットを使った恐竜の造形物、ダンボールで作られた恐竜模型の店内展示など、活用や情報発信は市民レベルから企業にまで広がっている。こつこつとした取り組みを通して市民が恐竜を身近に感じ、文化・芸術作品の域へ高めていくような取り組みに繋げていきたい。

問 当市のエネルギー活用

答 風力発電については、気象庁のアメダステータによると、勝山市の年間平均風速は概ね2m以上で、マイクログ風車を使用した発電の可能性も期待できるのではないかと考える。市としては、再生可能エネルギーの活用のうち、発電については民間事業者の事業化を基本と考えているが、情報提供など様々な協力ができると考える。再生可能エネルギーに関する新しい技術開発の動向などについて、情報収集に努めていく。